

能「巻絹 替装束」



津村禮次郎

熊野本宮大社は古代より帝を始め多くの人々の信仰を集めている。折しも全国から絹布の奉納が帝の命令で行われる。肝心の都から来る使者が熊野本宮に届かない。その使者の男は本宮大社近くの音無川のほとりにある音無の天神で、梅の香りをめで一首の和歌を詠んでいたという。男は戒めの為に縄を掛けられるが、天神に仕える巫女が現れ神に歌を奉げたためであり天神もその歌を喜んでいと証明する。男は許され、巫女は熊野権現の靈験を語り、多くの神仏がここには宿っていると、その有難さを讃え神楽を舞って見せる。出演：津村禮次郎ほか



野村萬斎

狂言「二人袴」

舞に入る若者が恥ずかしいと言って父親に付き添ってもらう。父親は門口で帰るつもりが、とうとう家の中まで案内され、舅に直面することになる。ところが用意した袴は一枚しかなく、二人で代わる代わる履き替えて対面し、何とか誤魔化せたのだが、二人揃って対面したいと所望され… 出演：野村萬斎ほか

創作ダンス「THE KUMANO-2018」

2014年8月に小金井薪能公演で創作初演、10月には熊野古道世界遺産指定の10周年記念で熊野本宮大社・大斎原で再演奉納された。昨年は文化庁芸術祭参加作品の為、GINZA SIX・観世能楽堂でダンス作品としてリメイクされた。今回は小金井薪能の2018年版として、更に進化した作品となる。古代より修験の道、信仰の道として熊野古道は現代に生き続けている。信仰の基となるのは奥深い熊野山地、古事記の神々、仏教の仏たちが混然一体となっている。そこには貴賤を問わず、男女の差別もない奇瑞が伝承されている。まさに日本人の信仰の在り方の原点ともいえる。ダンスと能舞のパフォーマンスを歌と和洋の楽器が奏で歌う。

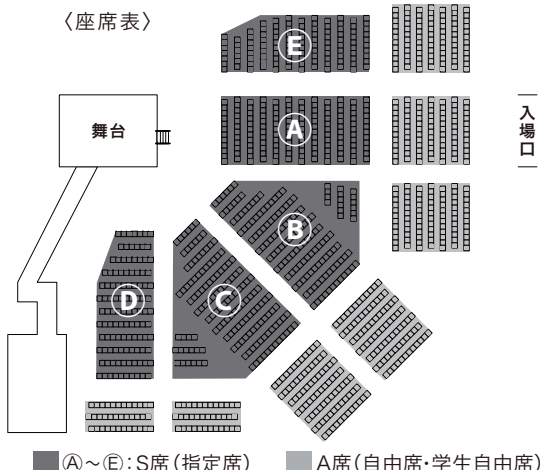
舞：酒井はな、小尻健太、宝満直也、上田尚弘、津村禮次郎 歌：福井敬 笙：真鍋尚之 箏（ひちりき）：栗山葵衣 ビオラダガンバ：多井智紀 和太鼓：高橋勅雄、高橋亮 コンセプト：津村禮次郎 演出・振付：小尻健太 音楽（作曲構成）：真鍋尚之

▶晴天時は 会場：都立小金井公園江戸東京たてもの園前

JR中央線 武蔵小金井駅北口
西武バス②③番バス(花小金井駅方面)
関東バス(パーキング大久保前③番コース、三鷹行きより約7分)
開場：午後5時
開演：午後5時30分～
終演：午後8時30分を予定

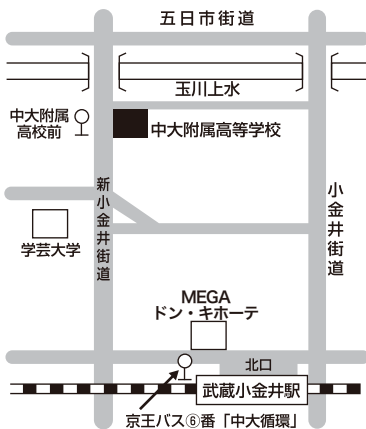


〈座席表〉

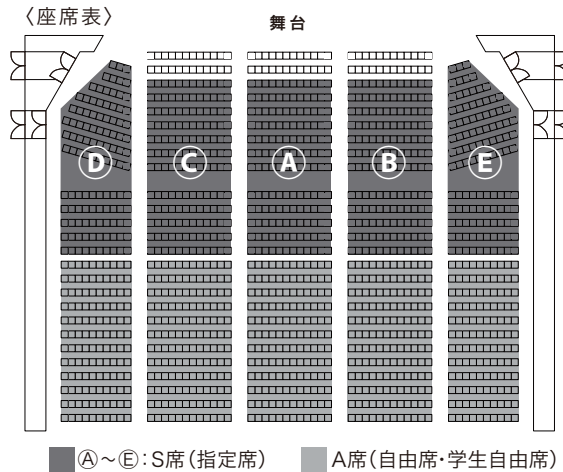


▶雨天時は 会場：中央大学附属高等学校講堂

JR中央線武蔵小金井駅北口
京王バス⑥番「中大循環」より約5分
開場：午後5時
開演：午後5時30分～
終演：午後8時30分を予定



〈座席表〉



〈雨天の場合〉

当日午後3時に雨天会場(中央大学附属高等学校講堂)への変更を決定し、公園各入口、武蔵小金井駅北口等に提示します。公演中、降雨・雷発生時は、事務局、演者と慎重に協議の上、公演中止となる場合もある事をご了承下さい。その場合の払戻は一切いたしません。雨天時の会場には駐車場は有りませんので車で来場はご遠慮下さい。

※晴天、雨天に拘わらず場内での写真撮影、ビデオ撮影、録音は著作権法上、固くお断り申し上げます。携帯電話のスイッチは必ずお切り下さい。

電話でのお問い合わせは、
当日に限り下記の電話番号にて受け付けます。
〈小金井薪能事務局〉
080-9367-5960 (公演当日に限る)
042-387-1712 (午前10時～午後4時)